



助成：文化庁文化芸術振興費補助金 統括団体による文化芸術需要回復・地域活性化事業（アートキャラバン2）
独立行政法人日本芸術文化振興会

文化庁
Agency for Cultural Affairs,
Government of Japan

日本舞踊キャラバン

北海道公演

『長唄 操り三番叟』



藤間直三
ふじま なおぞう
(三番叟)



西川扇左衛門
にしかわせんざえもん
(後見)

『長唄 水仙丹前』
(振付 花柳智方彦)



若柳吉令
わかやぎ さちはる



西川祿満
にしかわろくまる



藤間扇久華
ふじま せんきょうか



藤間扇香樹
ふじま せんこうじゅ



松本錦繁友
まつもと きんしげとも



西川延菊
にしかわ えんぎく

『地歌蛙』



山村 侃
やまむら かん



吉村奈尾
よしむら なお

『清元 幻お七』



花柳喜衛文華
はなやぎ きえあやか

『長唄 連獅子』



市山松扇
いちやましょうせん
(親獅子)



花柳静久郎
はなやぎ せいこうろう
(仔獅子)



西川申晶
にしかわ しんしょう
(胡蝶)



若柳薫子
わかやぎ かおるこ
(胡蝶)



〈演目〉

あやつりさんぽそう

長唄 操り三番叟

すいせんたんげん

長唄 水仙丹前

【北海道支部会員出演】

地歌 蛙

まぼろしおしち

清元 幻お七

ねんじし

長唄 連獅子

2023年
11月26日(日)

開演 午後1時 (開場 12時15分)

【会場】〒047-0024 小樽市花園5丁目3番1号
TEL:0134-25-8800

小樽市民会館ホール

入場料： 5,000円 (税込・全席自由席)

前売開始： 2023年10月2日(月) 午前10時～

お申込み： 東京コンサーツオンラインチケットサービス
<http://confetti-web.com/TOKYO-CONCERTS>

(電話予約) カンフェティチケットサービス

TEL: 0120-240-540 (平日10時～18時
オペレーター対応)

道新プレイガイド TEL:0570-00-3871 (10時～17時)

※10月中旬より小樽市民会館でもお買い求めいただけます

オンラインチケット購入

日本舞踊キャラバンオフィシャルサイト



主催・お問合せ

The NIHONBUYO Association



公益社団法人

日本舞踊協会

TEL: 03-3533-6455
(平日10時～17時)

<制作協力>

株式会社 東京コンサーツ / 株式会社 谷口事務所

日本舞踊キャラバン 北海道公演

日本舞踊キャラバン北海道公演へようこそ。本公演は、全国 11 か所で開催。

日本の美と粋がつまった伝統芸能「日本舞踊」の魅力を存分にご堪能いただく企画です。

地元・北海道をはじめ、第一線で活躍中の日本舞踊家が出演し、全曲・邦楽演奏家による生演奏で上演。

初めてご覧になる方から愛好家の方、お子様からご年配の方まで、どなたでもお楽しみいただける公演です。

皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

【演目】 ※公演では、各演目の解説や見どころを司会・藤蔭静千華がご案内いたします

ながうた
あやう
さんばせう
長 唄 操り三番叟

三番叟の操り人形が踊り出します。三番叟は祝福をもたらす神様で、この演目は伝統芸能の根元として伝わる「三番叟」の舞を楽しくアレンジしました。実際には糸はないのに、本当に糸で吊られているような三番叟の動きが見どころです。

ながうた
すいせんたんぜん
長 唄 水仙丹前

曲の冒頭に「水仙の花の姿や」と謳われていることから「水仙丹前」という題名になりました。言葉遊びの風雅な曲の中に、様々な踊りが楽しめる作品です。紅葉が散る様に重ねた恋心の他、待つ恋など様々な恋が綴られており、毛鎗を振る「鎗踊り」も華やかです。

じつた
かわず
地 歌 蛙

蛇につかまった蛙のお話です。蛙は父親をカラスに取られ、その仇を討ちたいのに、今、蛇に吞まれては望みを叶えられないと命乞いをします。蛇は、自分も息子を鳶にさらわれたのでその気持ちはわかると同情して、立ち去りますが…。

きよもと
まほろしおしち
清 元 幻お七

八百屋の娘お七の狂おしい恋の思いを幻想的に描いた作品です。お七は恋しい吉三とよく似た押絵の羽子板をながめるうちに思いが募り、やがて吉三が何者かに連れ去られる幻を見て、彼を救うために、禁止されている火の見櫓の太鼓を打とうと櫓に上っていきまます。

ながうた
れんじし
長 唄 連獅子

獅子の父子の情愛と勇ましさを描いた歌舞伎舞踊屈指の名作です。前半のハイライトは二人の狂言師が描く、獅子の子落し伝説。我が子を谷底へ落とし、這い上がってきた強い子だけを育てるといふものです。後半は父子の獅子の精が毛振りをするなど勇壮な姿を見せます。前場と後場の間に胡蝶の精の愛らしい踊りもあります。

【演目解説】阿部さとみ（舞踊評論家）

【司会】
ふじかけしすちか
藤蔭静千華



日本舞踊協会 HP
「日本舞踊キャラバン公演」
最新情報発信中！

【主な演奏者】

長唄	三味線	浄瑠璃	地歌	囃子
杵屋 勝四郎	杵屋 栄八郎	清元 清榮太夫	清元 清志寿造	松浪 千壽



「連獅子」



「幻お七」



「蛙」



「水仙丹前」



「操り三番叟」

【主催：公益社団法人日本舞踊協会とは】日本舞踊協会は日本の伝統芸能である「日本舞踊」を通じて豊かな社会づくりに取り組む団体です。1955年に設立され、約110流派約3,600名の日本舞踊家が所属し、全国26の支部があります。普及や人材育成を図るための主催公演の開催や、創作日本舞踊の発表、映像配信、こども向けのワークショップや文化庁主催の学校巡回公演、外国人向け体験プログラムを実施するなど、流派を超えて、各事業に取り組んでいます。

北海道には約30名の日本舞踊家が所属し、日本舞踊の魅力を伝えるためにさまざまな活動を行っています。

今回の日本舞踊キャラバン公演は、2023年8月から2024年1月までの期間、山形・鹿児島・徳島・富山・高知・北海道・京都・宮城・沖縄・山梨・大阪の全11か所にて順次開催！各地で日本舞踊協会ならではの珠玉の舞台をお届けいたします。本公演の詳細や稽古風景等は、公式HPをご覧ください！

公演担当理事：吾妻徳穂 井上八千代 尾上菊之丞 西川箕乃助 山村友五郎 若柳壽延
(公演担当委員：花柳絵美舞也 花柳知香之祥 藤蔭里燕 藤間巡子 若柳延祐 若柳杏子)